

Title	最近経済文献
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1933
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.27, No.5 (1933. 5) ,p.759(101)- 123(781)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19330501-0101">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19330501-0101</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

れてゐるのである。「肖像及挿繪目次」に由れば、博士は之を今の海軍主計大佐武井大助氏から贈呈せられたとある。武井大佐は東京高等商業學校の出身で、二十餘年前即ち明治四十二年の頃、筆者等と共に福田博士の千駄谷の自宅に於ける國富論輪讀會の熱心なる會員であつたが、夙く官命を帯びて渡英した機會に特にカウヂイを訪れて里人とアダム・スミスの事を談じたと傳へ聞いた。問題の肖像寫眞は恐らく此機會に手に入れたものであらう。序に記せば、多くの日本人がスミスの遺蹟を尋ねることはボナアも特に記して居る。「アダム・スミス記念館なるものがカウヂイに一八九九年に建てられた。又其より新しい戦争博物館の中には全部を擧げてアダム・スミス記念物を陳列せる一部がある。此町は今日は經濟學者に取つての承認せられた巡禮地であり、其中で吾等の友、日本人が特に顯著である。」(p. viii)。又ボナアは別に、スミス蔵書の日本渡來の事を記したところでも、「此の共通の偉人に對する傾倒に於て、吾々は最早互に他人 (Foreigners) ではなく」と記してゐる (p. xviii)。何れも日本の經濟學研究者に取つて愉快なる記事と謂はなければならぬ。

## 最近經濟文獻

### 〔理論經濟學〕

- \* 辨證法的經濟學方法論 アヘズカウス・ドウィーコル著 岡本誠一郎・稻葉明男共譯 菊判二三八頁 白揚社
- \* 經濟學入門—資本論の方法論的研究—マルクス・レーニン主義講義録局編マルクス主義經濟學研究會譯 四六判二八五頁
- \* 經濟原論(全訂改版) 山崎覺次郎著 菊判 中外書房
- \* マルクス主義貨幣論 カウツキー著 高村雪夫譯 四六判：勞農書房
- \* 價值と價格の理論の數學的研究 フイツミアア著 久武雅夫譯 菊判 裳華房
- \* 國民經濟の意義 西村文太郎著 菊判 明大學會
- マルクスに於ける平均利潤率(經濟論叢、三六卷四號、昭和八・四、一九一—三六頁) 高田 保馬
- 資本主義經濟機構に於ける價格の職能(國家學會雜誌、四七卷四號、昭和八・四、三八一—五九頁) 土方 成美
- Clausing, G.: Reine und realistische Wechselagentlehre. (Schnollers Jahrbuch. 57, 1. 27-40. Feb. 1933.)
- Jecht, H.: Wirtschaft und Wissenschaft. Bemerkungen zu dem Werk von Gottl-Othilienfeld (Finanzarchiv 1-4. 562-568.

最近經濟文獻

### 〔經濟學叢刊〕

- Marz, 1933.)
- Leener, G.: L'économie libérale et l'économie dirigée. (Revue d'Eco. Pol. 47<sup>e</sup>. No 1. 1-30. Jan-Feb. 1933.)
- Pigou, A. C.: A Note on Imperfect Competition.—The Imperfection of the Market (The Economic Journal. 43. 160. 108-112. March. 1933.)
- Pintschovius, K.: Wert und Preis als Ausdrucksformen verschiedener Entwicklungsstadien. Zu F. von Gottl's neuem Werk "Wirtschaft und Wissenschaft". (Schnollers Jahrbuch. 57, 1. 97-105. Feb. 1933.)
- Quante, P.: Arbeitsbeschaffung und Rentabilität. (Schnollers Jahrbuch. 57, 1. 41-68 Feb. 1933.)
- Schultz, H.: Ragnar Frisch on the measurement of utility. (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 95-116. Feb. 1933.)
- Showe, G. F.: A Further Note—The Imperfection of the Market. (The Economic Journal. 43. 160. 113-125. March. 1933.)
- Watkins, G. P.: Economics of saving. (Amer. Econ. Review. 23. 1. 61-81. March 1933.)

101 (七五九)

\*舊約文學序説 都留仙次著 (基督教教義叢書十卷) 四六判 二二五頁 日獨書院  
 \*近世畫家論(三) ラスキン著 御木本隆三譯(世界大思想全集六九卷) 四六判 春 秋 社  
 \*マルクス主義物語 淺野研眞著 四六判一五七頁 大 雄 閣  
 \*上宮太子論叢 船故郷舍編 菊判一五六頁 船 故 郷 舍  
 \*儒教道德の特質と其の學說の變遷 北村澤吉著 菊判三八三頁 關 書 院  
 \*藤田東湖集・徳川光圀集・橋本左内集・松平定信集・藤田陶谷集(大日本思想全集一八卷) 菊判 大日本思想全集刊行會  
 \*會澤正志集 高須芳次郎編 (水戸學全集二卷) 菊判四八二頁 日 東 書 院  
 \*ユスチニアヌス帝學說彙纂第八卷邦譯(三)(法律學研究三〇卷三號昭和八・三、四一―一六五頁) 船 田 享 二  
 發生當時に於ける回教國のデモクラシーに就いて(イスラム文化一輯、昭和七・一、六六―七八頁) 宮 城 良 造  
 リカアド研究(拓殖大學論集、三卷二號、昭和八・三、八九―一八頁) 渡 邊 一 郎  
 日本古代思想、歴史教育、八卷一號、昭和八・四、一―八頁) 清 原 貞 雄  
 藤原後期及び鎌倉初期に於ける淨土教思潮の概観(下、了)(歴史と地理三一卷三號、昭和八・三、三八―五二頁) 福 尾 猛 市 郎  
 反封建的イデオロギーとしての國學―その進歩性と反動性(歴史科學二卷二號、昭和八・四、五二―六一頁) 田 中 惣 五 郎  
 自由主義者・島田三郎(中央公論、四八卷五號昭和八・五、二九三―三三三頁) 木 下 尙 江  
 Bogart, E. L., and others: American economic thought. A

round table discussion. (Amer. Econ. Review. 23, 1. Supplement 85-90. March 1933.)  
 Leubuscher, C.: Heinrich Herkner als Sozialpolitiker. (Schmollers Jahrbuch. 57, 1. 13-26. Feb. 1933.)  
 Menzel, A.: P. J. Proudhon in neuer Beleuchtung. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 68, 6. 730-740. März 1933.)  
 Nef, J. V.: Richard Carnardens "A caveat for the Queen" (1570). (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 33-57. Feb. 1933.)  
 Spring, M., A. Müller u. W. Sombart: Heinrich Herkner zum Gedächtnis. Drei Aussprachen bei der Gedächtnisfeier des Staatswissenschaftlich-Statistischen Seminars der Friedrich-Wilhelm-Universität in Berlin gehalten am 16. Dez. 1932. (Schmollers Jahrbuch. 57, 1. 1-12. Feb. 1933.)  
 Piron, G.: Léon Duguit et l'économie Poli. (Revue d'éco. Poli. 47<sup>e</sup> N. 1. 55-91. Jan.-Feb. 1933.)  
 Viner, J.: An unpublished letter of Ricardo to Malthus. (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 117-120. Feb. 1933.)  
 Weston, N. A.: The Ricardian epoch in American economics. (Amer. Econ. Review. 23, 1. 27-34. March 1933.)

〔社會經濟史〕

\*日本遣歐使者記 グラルチエリ著 木下奈太郎譯 四六判二一七頁 岩 波 書 店  
 \*亞米利加經濟史講話 フォークナー著 佐藤精一譯補 四六判三五二頁 章 華 社  
 \*社會事業史 キュイン著 三浦精翁譯 四六判二八七頁

.....: 文 部 書 院  
 \*東西交渉史の研究 卷下―西域篇及附篇 藤田豊八著 菊判 四一二頁 岡 書 院  
 \*歐米人亞細亞侵略の歴史 佐藤正作撰述 四六判二六一頁: 大 同 館  
 \*日支外交六十年史 第一卷 王蔭生著 長野勳・波多野乾一編 譯 菊判三七九頁 建 設 社  
 \*國史十六講 中村孝也著 菊判六八頁 日 民 文 化 研 究 會  
 \*日本文化史 宮川造六著 四六判二二九頁 文 泉 堂  
 \*近世日本農村經濟史論 土屋喬雄・小野道雄著(經濟學全集五九卷) 四六判 改 造 社  
 \*日本金融資本發達史 野村順之助著 菊判三二九頁: 共 生 閣  
 \*日本社會經濟の研究 山中篤太郎著 菊判二一九頁: 森 山 書 店  
 \*遠江積志村民俗志 中道朔爾著 (諸國叢書二卷) 四六判二四四頁 郷 土 研 究 社  
 \*名物裂の研究 澁江終吉著 四六倍判二五一頁 工 政 會 出 版 部  
 \*不換紙幣インフレーションの史的發展 宮川貞一郎著(不換紙幣叢書二) 四六判二三五頁 高 瀬 書 房  
 \*明治前期財政經濟史料集成 第七卷地租改正報告書、地租改正例規沿革撮要、地租關係書類彙纂、大内兵衛・土屋喬雄校、菊判四七八頁 改 造 社  
 經濟社會史學の概念について(史潮三年一號、昭和八・三、三一―四七頁) 中 川 一 男  
 所謂「歴史の現代的解釋」に就いて(社會、二卷四號、昭和八・四、三〇―三七頁) 船 山 信 一

ブルックハルトの古代没落觀について(二)(史學研究、四卷三號、昭和八・三、一一〇―一三六頁) 千 代 田 謙  
 シュメルに於ける奴隸制成立期の研究(二)(社會經濟史學三卷一號、昭和八・四、三七―五八頁) 井 上 芳 郎  
 古代パピロニアの都市國家君主の稱號パテシの起源に就いて(史學研究、四卷三號、昭和八・三、七二―八二頁) 中 原 與 茂 九 郎  
 イスラーム教徒の埃及征服、イスラム文化一輯、昭和七・一一、八三―九八頁) 岡 島 誠 太 郎  
 アングロ・サクソン時代英國略史(國家學會雜誌、四七卷三號、昭和八・三、七〇―一二〇頁) 松 本 馨  
 チュードル王朝の穀物統制(上)(經濟史研究、四二號、昭和八・四、一一―一八頁) 東 晋 太 郎  
 ロンドン法律街略史(上)(史學、一二卷一號、昭和八・四、一五―三二頁) 峯 岸 治 三  
 獨立労働黨の成立と其の歴史的意義(國家學會雜誌、四七卷三號、昭和八・三、一一―二七頁) 岡 義 武  
 Patis 及 Mathews の財政政策(經濟史研究、四二號、昭和八・四、七六―八六頁) 平 塚 芳 雄  
 サロン生活の史的意義―十八世紀フランスに於ける―(史學雜誌四四編二、三號、昭和八・二、三、一一―二六、六七―八六頁) 金 子 光 介  
 獨逸及び佛蘭西に於ける税制の發展と所得税の成立(經濟史研究、四二號、昭和八・四、六一―七六頁) 柏 井 象 雄  
 ストラスブルグに於ける都市領主制と市民階級の發端に就いて(其七)(國民經濟雜誌、五四卷四號、昭和八・四、四七―七〇頁) 宮 下 孝 吉  
 船舶共有組合に關する一研究―株式會社發生史の傍系的問題

(社會經濟史學、三卷一號、昭和八・四、一—三六頁) 大塚 久雄  
 宗教改革期のドイツ農民ミローマ法繼承史觀三冊、昭和八、  
 二、一—六三頁) 小林 正之  
 アメリカ經濟史概説(七)(經濟史研究、四二號、昭和八・四、四  
 八—六〇頁) 堀江 保藏  
 トルコ民族主義進行過程の展望(一)(イسلام文化一輯、昭和  
 七・一、九九—一七頁) 大久保幸次  
 世界大戦前に於ける國際銀行設立案の發展に就いて(經濟史  
 研究、四二號、昭和八・四、一九—三八頁) 松岡 孝兒  
 西洋史文獻目錄 邦文史學關係雜誌所載論文の部(史觀三冊、  
 昭和八・二、一—二〇四頁) 早稻田大學史學會西洋史部會編  
 南洋經濟史概説(拓殖大學論集、三卷二號、昭和八・三、一—九  
 一—四四頁) 岡本 精一  
 日英交通史料(一〇)(商業と經濟、一三年二冊、昭和八・三、一  
 八五—二二四頁) 武藤 長藏  
 日支新關係の成立—幕末維新期に於ける—(史學雜誌、四四編  
 二、三號、昭和八・二、三、二七—六三、四二—六六頁) 田保橋 潔  
 前漢に於ける匈奴と西域との關係(下、了)(歴史と地理、三一  
 卷三號、昭和八・三、三〇—三三頁) 駒井 義明  
 匈奴と月氏、烏孫の關係に就いて(歴史と地理、三一卷四號、昭和  
 八・四、二四—三一頁) 安馬彌一郎  
 支那に於ける社會生活の特異性と組合の使命—根岸信氏「支  
 那ギルドの研究」を讀みて—(社會政策時報、一五一號、昭和  
 八・四、一四六—一五四頁) 中島仁之助  
 日本原住民族—非日本先住民族(歴史教育、八卷一號、昭和八・  
 四、三一—四〇頁) 清野 謙次

日本古代社會經濟史概観(歴史教育、八卷一號、昭和八・四、九  
 一—二二頁) 瀧川政次郎  
 古代日本人の信仰生活(歴史教育、八卷一號、昭和八・四、二三  
 一—三〇頁) 折口 信夫  
 古代日本に於ける招婿婚の問題(社會學、第五號、八九—一〇  
 六頁) 洞 富雄  
 考古學上から觀た日本古代史(歴史教育、八卷一號、昭和八・  
 四、四—一五頁) 森下 六爾  
 民俗學から觀た日本古代史(歴史教育、八卷一號、昭和八・四、  
 五—一六頁) 北野 博美  
 神話學より見たる日本古代史(歴史教育、八卷一號、昭和八・  
 四、六五—八二頁) 松本 芳夫  
 日本法制史料(廿七完)(法律學研究、三〇卷三號、昭和八・三、  
 六六—一〇二頁) 會田 範治  
 天武令に於ける位階の名號に就いて(國家學會雜誌、四七卷三  
 號、昭和八・四、四八—六九頁) 瀧川政治郎  
 日本中世寺院法に於ける刑法(法學志林、三五卷四號、昭和八・  
 四、二六—五〇頁) 細川 龜市  
 日本中世寺院法に於ける不動産物權(史學、二二卷一號、昭和  
 八・四、五九—八八頁) 細川 龜市  
 中世琉球に於ける錢貨の流通に就いて—特に其日本内地との  
 交渉(歴史と地理、三一卷三號、昭和八・三、一一—一八頁) 小葉田 淳  
 僧兵構成の因子について(龍谷史壇、一一號、昭和七・二、一  
 四—二二頁) 三木 一天  
 源賴朝の社寺建立(歴史地理、六一卷三號、昭和八・三、四三—  
 四七頁) 大森金五郎

金澤文庫の再吟味(二、三)(歴史地理、六一卷三、四號、昭和八・  
 三、四、一五—三〇、一七一—二五頁) 關 靖  
 近世初期庶民階級管見(史潮、三年一號、昭和八・三、八六—  
 〇六頁) 山下 恒次  
 周防岩國川尻の新田開發(社會經濟史學、三卷一號、昭和八・  
 四、八一—九二頁) 栗栖 越夫  
 丹後與謝郡岩屋村の入會林野の研究(社會經濟史學、三卷一  
 號、昭和八・四、九三—一〇六頁) 永濱 宇平  
 仙臺藩の海運について(歴史教育、七卷一三號、昭和八・三、二  
 七—三九頁) 古林 光雄  
 日光法要と公卿の参向—その交通經濟史的考察(經濟史研  
 究、四二號、昭和八・四、八六—一〇二頁) 大山敷太郎  
 琉球使節の江戸参禮(歴史地理、六一卷三、四號、昭和八・三、  
 四、四八—五六、三五—四二頁) 大島延次郎  
 天明以前の蝦夷地開拓意見(上)(社會經濟史學、三卷一號、昭  
 和八・四、五九—八〇頁) 高倉新一郎  
 農民と揆論の批判(歴史科學、二卷二號、昭和八・四、三二—四  
 二頁) 田村榮太郎  
 維新史方法上の諸問題—舊著に對する自己批判に併せて(歴史  
 科學、二卷二號、昭和八・四、二—二二頁) 服部 之總  
 明治維新における土地改革の特質(歴史科學、二卷二號、昭和  
 八・四、七一—八三頁) 櫻井 武雄  
 明治維新に於ける宗教改革—及びその意義に就いて(歴史科學  
 二卷二號、昭和八・四、四三—五一頁) 巖木 勝  
 明治維新と相對的過剩人口の形態—朝鮮移住者について(歴史  
 科學、二卷二號、昭和八・四、二二—三一頁) 玉城 肇  
 明治初年農民騷擾の數量的考察(歴史科學、二卷二號、昭和八・

四、八四—八八頁) 木村 靖二  
 民權運動の變遷—士族から大衆へ(歴史科學、二卷二號、昭和  
 八・四、六四—七〇頁) 清水 一雄  
 大阪の荷受問屋二番組(上)(經濟史研究、四二號、昭和八・四、  
 三九—四七頁) 宮本 又次  
 明治維新以後に於ける日本法制その發達の特質—(社會學、第  
 五號、一〇七—一二八頁) 岡崎 一天  
 日本憲法の理論的背景に關するノート(社會學、第五號、四七  
 一—六八頁) 小高 良雄  
 本邦窒素工業の經濟的考察(二)(財政經濟事報、二〇卷四號、  
 昭和八・四、九三—一〇六頁) 萩 五郎  
 \* Preger, M.: Zur Handelsgeschichte der Juden in Polen with  
 rend.-des. 17. Jahrhunderts. Berlin, 1932. VII. 46 S.  
 \* Doehsne, L.: Histoire économique et sociale de la Belgique  
 depuis les origines jusqu'en 1914. Paris, 1932. 519 p.  
 \* The United States and Nicaragua. A Survey of the Relations  
 from 1909 to 1932. (The Department of State. Latin Ame-  
 rican Series. No. 6.) Washington, 1932. IV, 134 p.  
 \* Renarts, P.: Bulletin historique. Histoire d'Allemagne au XIXe  
 siècle. (Rev. Historique. 57. 3. 491-505. Nov.-Déc. 1932.)  
 \* Blum, A.: Les origines du papier. (Rev. Historique. 57. 3.  
 435-446. Nov.-Déc. 1932.)  
 \* Glotz, G.: Démocratie et les finances atléniennes de 346 à  
 339. (Rev. Historique. 57. 3. 385-397. Nov.-Déc. 1932.)  
 \* Hausser, H.: Bulletin historique. Histoire de France. Histoire  
 Moderne (1498-1660). (Rev. Historique. 57. 3. 471-490.  
 Nov.-Déc. 1932.)

Joly, R.: Le palais de Minos, d'après un ouvrage réent. (Rev. Historique. 57. 3, 426-434. Nov-Déc. 1932.)

Koebner, R.: Deutsches Recht und deutsche Kolonisation in den Pistenländern. (Viertelj. f. Soz. u. Wirtschsh. 25. 4. 313-352. 1932.)

Malleou, W.: The twenty-six commissars. (Fortnightly Review. 795. 333-348. March 1933.)

Michels, R.: Quelques aperçus sur l'histoire de la bourgeoisie italienne au XIXe siècle. (Rev. Historique. 57. 3. 398-425. Nov-Déc. 1932.)

Pratt, E. J.: La diplomatie française de 1875 à 1881. (Rev. Historique. 57. 3. 447-470. Nov-Déc. 1932.)

Simkovich, V. G.: Approaches to History IV. (Political science quarterly. 158. 1. 23-61. March, 1933.)

Stolz, O.: „Der rechte Kreis, eine dreijährige Fruchtfolge mit Flurzwang im Pustertal nach Belegen des 16. bis 18. Jahrhunderts.“ (Viertelj. f. Soz. u. Wirtschsh. 25. 4. 353-357. 1932.)

【經濟政策】

\*救農救國救民根本策 日本農業革新論 河村九淵著 四六判 四一九頁 有誠堂

經濟法の理念「經濟法」の概念構成一(國民經濟雜誌, 五四卷四號, 昭和八・四, 一一二六頁) 北村 五良

サウエート聯邦の二つの五個年計畫(世界の勞働, 一〇卷四號, 昭和八・四, 二七一三五頁) 國際勞働局東京支局

ソ聯に於ける物價問題(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 六三一八二頁) 堀部 靖雄

アウスマエアカウフに就て(商業と經濟, 一三年二册, 昭和八・三, 一六五—一八四頁) 堀部 靖雄

ソ聯中央執行委員會第六期第三次會議, 會議概観(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 二一一三頁) 高橋 克巳

五年計畫の總算と一九三三年度計畫會議に於ける聯邦人民委員會議長モロトフ氏の報告概要(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 一三三—一三〇頁) 三島 抄譯

ソ聯中央執行委員會第六期第三次會議 重要決議事項(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 三九—六三頁) S. M. 抄譯

百貨店の自制と抑制(國民經濟雜誌, 五四卷四號, 昭和八・四, 七一一九五頁) 平井泰太郎

小賣商問題(世界經濟問題, 第五輯, 昭和八・二, 一一六頁) 向井 鹿松

近世の都市穀物市場政策(商學評論, 一一卷四號, 昭和八・三, 一一二〇頁) 東 晋太郎

我國の土木建築産業(一)(商學評論, 一一卷四號, 昭和八・三, 一四〇—一七〇頁) 田村 市郎

産業組合運動の動向(社會政策時報, 一五一號, 昭和八・四, 一一六頁) 金子鷹之助

製絲業法に就て(法律學研究, 三〇卷三號, 昭和八・三, 二一二—二六頁) 西山 峯吉

生糸販賣統制に對する諸論(經濟時報, 五卷一號, 昭和八・四, 三二—四二頁) 西澤 基一

漁業組合に於ける出資制度(經濟論叢, 三六卷四號, 昭和八・

四, 二四四—二四八頁) 蜷川 虎三

ソ聯極東漁業の現状(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 二二—一六四頁) 古田 信治

移民政策論(國民經濟雜誌, 五四卷四號, 昭和八・四, 二七一—二六頁) 金山 近二

滿洲移民問題に就て(昭和八年一月十二日滿洲問題第二回特別委員會席上に於て) (社會政策時報, 一五一號, 昭和八・四, 附録一一二二頁) 安藤廣太郎

農村生活改善の實際, 滋賀縣宮村及兵庫縣松井庄村の事例(社會政策時報, 一五一號, 昭和八・四, 七五—八七頁) 高橋 雅介

農業に於ける團體協約(世界の勞働, 一〇卷四號, 昭和八・四, 一一—一三頁) 國際勞働局東京支局

農村關係の新法律(經濟往來, 八卷五號, 昭和八・五, 一七四—一八一頁) 前田 繁一

水利農業に於ける資本の支配(社會, 二卷四號, 昭和八・四, 二〇—二九頁) 近藤 康男

農民心理の一考察(農業經濟研究, 九卷二號, 昭和八・四, 一〇四—一四四頁) 増田福太郎

米穀取引に於ける標準米の設定と格付表の制定(明大商學論叢, 二二卷六號, 昭和八・三, 四九—六六頁) 林 久吉

地方團體の社會的機能(農業經濟研究, 九卷二號, 昭和八・四, 二二—五二頁) 嶺山 政道

本邦農業に於ける賃労働の研究(農業經濟研究, 九卷二號, 昭和八・四, 七五—一〇三頁) 内ヶ崎慶二郎

アイヌの農業(農業經濟研究, 九卷二號, 昭和八・四, 一一—一四〇頁) 高倉新一郎

ホルホズ(共營農場)の強化に就て(聯邦農務人民委員ヤコウ

レフ氏の報告概要(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 三〇—三九頁) S. M. 抄譯

インフレーション下の農村(農業經濟研究, 九卷二號, 昭和八・四, 一一—二二頁) 東浦 庄治

ソ聯に於ける穀物調達政策の變更—退却から再び攻勢へ—(ソウエート聯邦事情, 昭和八・四, 八一—九二頁) 小山 生

マシントラクター・ステーション及ホルホズ間の模範契約(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 一六五—一七〇頁) マシン

トラクター・ステーション長ホルホズ管理部・三島隆譯都市に於ける道路の設計(上) 歐米都市の研究(一節) 都市問題, 一六卷四號, 昭和八・四, 六一—八二頁) 中村與志平

交通遮断に因る時間的損失(都市問題, 一六卷四號, 昭和八・四, 五一—六〇頁) 榎木 徹

一九三二年度東支鐵道輸送狀況(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 一七一—一七九頁) 原龍三譯

ソ聯民事航空業の現状(ソウエート聯邦事情, 四卷四號, 昭和八・四, 一〇〇—一〇三頁) 高橋 克巳

Hansen, A. H.: The formation of capital: Measurement and relation to economic stability. Around table discussion (Amer. Econ. Review. 23. 1. Supplement. 91-97. March 1933.)

Hellauer, J.: Die Europäisierung des Überseehandels. (Z. f. Betriebswirtschaft. 10. 3. 129-141 März 1933.)

Haan, H.: Scientific management and economic planning (The Annals of the Amer. Acad. 166. 66-74. March, 1933.)

Krjgjevski, B. L.: Der Holzexport der UdSSR im ersten fünf-

jahresplan (Sowjetwirtschaft und Aussenhandel 12-3, 11-17, März, 1933.)  
 Kujyschew, W.: Die Ergebnisse des Kampfes für die technische Rekonstruktion der Volkswirtschaft (Sowjetwirtschaft und Aussenhandel 12-3, 20-31, März, 1933.)  
 Makower, H.: Warenlagerpolitik und rationalisiertes Angebot (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 68, 6, 676-701, März 1933.)  
 Murchison, C. T.: Requisites of stabilization in the cotton textile industry. (Amer. Econ. Review, 23, 1, Supplement, 71-80, March, 1933.)  
 Orwin, C. S.: World agriculture (The nineteenth Century and after, 113-673, 330-339, March 1933.)  
 Stocking, G. W.: Stabilization of the oil industry: its economic and legal aspects. (Amer. Econ. Review, 23, 1, Supplement, 55-70, March 1933.)  
 Schmitt, R.: Der Import China-Deutschland, insbesondere seine Finanzierung. (Z. f. handelswiss. Forschung, 27, 3, 113-125, März, 1933.)  
 Usher, A. P., and others: The rise of monopoly in the United States. A round table discussion. (Amer. Econ. Review, 23, 1, Supplement, 1-11, March 1933.)

【金融】

\*爲替相場變動と爲替管理 鈴木善三著 菊野 千倉書房

\*日本インフレーション國民經濟 高橋虎雄著 四六判四二二頁 東京書房  
 \*金融恐慌論 小島精一著 四六判三〇七頁 千倉書房  
 \*世界景氣の展望 平尾彌五郎著 四六判四一七頁 大畑書店  
 \*金本位恐慌後の投資對策 勝田貞次著 四六判二九八頁 千倉書房  
 \*經濟の變革 太田正孝著 四六判 二七八頁 太陽社  
 \*爲替理論と爲替問題 谷口吉彦著 菊野 千倉書房  
 \*聯盟脫退關係文書 四六判 國際聯盟協會發行  
 無盡講再論—立法問題を中心として—(法律時報, 五卷四號, 昭和八・四, 三一—一九頁) 戒能 通孝  
 庶民金融統制問題とモリスプラン (法律時報, 五卷四號, 昭和八・四, 二八一—三五頁) 牧内 正男  
 米國普通銀行の小口信用貸付部の實蹟 (銀行論叢, 二三卷三號, 昭和八・三, 三一—四九頁) 井關 孝雄  
 小切手法案の特異考 (銀行判例, 九卷三號, 昭和八・三, 一一—七頁) 銀行研究社  
 米國金本位の後に來るもの (銀行研究, 二四卷四號, 昭和八・四, 三一—四五頁) 飯田 清三  
 小切手法改正の要領 (中央銀行會通信錄, 三六〇號, 昭和八・三, 六一—九頁) 竹内 恒吉  
 時局と金融界 (銀行論叢, 二三卷三號, 昭和八・三, 一一—二二頁) 銀行問題研究會  
 大阪に於ける質屋組合の推移 (經濟時報, 五卷一號, 昭和八・

四, 四三一—五二頁) 黒羽兵治郎  
 貨幣制度の岐路 (經濟時報, 五卷一號, 昭和八・四, 一一—〇頁) 河田 嗣郎  
 不況時に於ける英米六銀行の損害比較 (銀行通信錄, 九五卷五六六號, 三八八—三九二頁) 東京集會所  
 保險募集取締規定改善案 (保險春秋, 二卷四號, 昭和八・四, 一一—二〇頁) 三上 勝  
 國家保險を排す (保險春秋, 二卷四號, 昭和八・四, 二八一—四八頁) 菅波 稱事  
 保險業法中改正法律解説 (生命保險經營, 五卷二號, 昭和八・四, 一一—二頁) 川瀨 和夫  
 銀行經營に現はれたる惰性的勢力 (二) (銀行論叢, 二三卷三號, 昭和八・三, 五〇—六七頁) 銀行研究社  
 手形行爲と押印 (銀行判例, 九卷三號, 昭和八・三, 一七一—二七頁) 山田 秀苗  
 貸出極度査定概念的基準 (銀行研究, 二四卷四號, 昭和八・四, 六七—八五頁) 加藤 秀雄  
 米國恐慌と金本位制 (中央銀行會通信錄, 三六〇號, 昭和八・三, 九一—九五頁) ラルフ・カーチス  
 金本位と恐慌 (銀行論叢, 二三卷三號, 昭和八・三, 二二—三〇頁) 銀行集會所  
 米國の銀行恐慌事情 (銀行通信錄, 九五卷五六六號, 昭和八・三, 四二—四三頁) 鈴木 敏一  
 死亡表統一問題に就いて (保險春秋, 二卷四號, 昭和八・四, 二〇—二八頁) 鈴木 敏一  
 平價切下げと保險經營 (保險春秋, 二卷四號, 昭和八・四, 六六一—七〇頁) 高木 金次

生保販賣部内の組織分析 (生命保險經營, 五卷二號, 昭和八・四, 二二—三九頁) 水野 昇  
 貨幣と物價との相關關係に就いて (經濟論叢, 三六卷四號, 昭和八・四, 九六一—一四四頁) 中谷 實  
 貨幣流通論 (經濟論叢, 三六卷四號, 昭和八・四, 七四—九六頁) 柴田 敬  
 大銀行の金融カラクリ (中央公論, 四八卷五號, 昭和八・五, 三一一—三三〇頁) 大森 三郎  
 近時に於ける保險の發達 (國民經濟雜誌, 五四卷四號, 昭和八・四, 九七一—二四四頁) 白杉 三郎  
 國際金本位制の前途 (經濟往來, 八卷五號, 昭和八・五, 二二—四四頁) 田中 金司  
 爲替心理說評價 (經濟論叢, 三六卷四號, 昭和八・四, 一一—一八頁) 米田庄太郎  
 株式取引所の機能的本質 (經濟論叢, 三六卷四號, 昭和八・四, 一一—一三八頁) 今西庄次郎  
 米國金融恐慌と聯邦準備銀行 (銀行研究, 二四卷四號, 昭和八・四, 二二—三三頁) 松崎 壽  
 米國金融恐慌と金本位制 (銀行研究, 二四卷四號, 昭和八・四, 一三—三一頁) 春日井 蕪  
 銀行貸出業務判例研究 (銀行研究, 二四卷四號, 昭和八・四, 特別附錄) 銀行研究社  
 非常時景氣の展望 (中央公論, 四八卷五號, 昭和八・五, 一〇六一—一二六頁) 中央公論社  
 大統領令を中心とする獨逸經濟の動向 (銀行通信錄, 九五卷五六六號, 昭和八・三, 三七〇—三八三頁) 東京銀行集會所  
 入用充足説に對する反對論の吟味 (明大商學論叢, 一三卷六

號、昭和八・三、六七—一二六頁) 印南 博吉  
 我國各社の資料による綜合研究—滿期契約者に對する抄換狀  
 並に記念品—(生命保險經營、五卷二號、昭和八・四、四三—五  
 八頁) 下河邊一男  
 インフレーション時代の獨逸生命保險會社(生命保險經營、五  
 卷二號、昭和八・四、三九—四九頁) 西山 雄一  
 一九三三年國際經濟會議の重要性(國民經濟雜誌、五四卷四  
 號、昭和八・四、一二五—一二八頁) 増井 光藏  
 ルーニエ新民法草案(國民經濟雜誌、五四卷四號、昭和八・  
 四、一二八—一三〇頁) 柚木 馨  
 一九三二年の世界貿易(國民經濟雜誌、五四卷四號、昭和八・  
 四、一三〇—一三五頁) 竹原實之助  
 貿易恢復策としての“Bartex” System (國民經濟雜誌、五四  
 卷四號、昭和八・四、一三五—一三八頁) 藤井 茂  
 國際經濟會議に對するムリナルスキーの提案(國民經濟雜誌、  
 五四卷四號、昭和八・四、一三八—一四三頁) 内田 武男  
 被雷船舶の修繕を繞る保險問題(商業と經濟、一三年二冊、昭  
 和八・三、一一四—一四六頁) 勝呂 弘  
 荒木光太郎氏著「貨幣制度概説」を讀みて(商學評論、一一卷四  
 號、昭和八・三、一七一—一八六頁) 中澤慶之助  
 本邦海上保險普通保險約款の改正案を讀む(商學評論、一一卷  
 四號、昭和八・三、一二六—一三九頁) 馬淵得三郎  
 豐崎稔氏「景氣豫測法研究」(國民經濟雜誌、五四卷四號、昭和  
 八・四、一五七—一六二頁) 新庄 博  
 小切手法の改正(商業と經濟、一三年二冊、昭和八・三、一二六  
 —一六四頁) 島本 英夫  
 取引所營業繼續を賭問題—主として東株に就て—(財政經濟

時報、二〇卷四號、昭和八・四、七七一—八七頁) 三木 龍二  
 賴母子講掛金の數學的研究(商業經濟論叢、一〇卷下冊、昭和  
 八・二、五五—八二頁) 成實 清松  
 米國金融恐慌と獨逸金融恐慌の類似性(經濟時報、五卷一號、  
 昭和八・四、一一—三一頁) 楠見 一正  
 Arpioux, M.: Le Maroc et la crise économique. (Revue d'écon.  
 Pol. 47e No 1. 110-139 Jan-Feb. 1933.)  
 Angell, J. W., and K. F. Flock: The expansion of bank credit.  
 I. (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 1-32. Feb. 1933)  
 Bliss, G. L.: The Place of the Federal home loan bank System  
 in the financial Structure. (The bankers mag. C. 26-3 193  
 3. Mar 240-243)  
 Burrows, V.: On Friendly Societies since the advent of natio-  
 nal health insurance. (Jl. of the of Actuaries L 13-307.  
 297-307)  
 Burton, H.: La vie économique en Amérique du Sud. (Revue  
 d'écon. Pol. 47e No 1. 110-139 Jan-Feb.)  
 Carsow, M. Les Prix et la Crise (Jl. d. Eco. 92e 101-113 Feb.  
 1933.)  
 Craig, J. I.: A general method in the theory of compound  
 interest introducing difference equations. (Jl of the inst. of  
 Actuaries. L. 13-307. 404-428)  
 Currie, L.: Treatment of credit in contemporary monetary theory.  
 (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 58-79. Feb. 1933.)  
 Edjo, L. D.: World Problem and Proposed remedies (The  
 Bankers magazine C 26 3. 222-227 Mar. 1933.)  
 Elderton, W. P.: Notes on foreign actuaries (Jl. of the

inst. of actuaries. L. 13-307. 484-489)  
 Ernest dos: A Symmetric Notation for binomial coefficients  
 (Jl of the inst. of actuaries. L 13-307. 424-429)  
 Groseclose, E.: Are small banks so bad? (The Bankers mag.  
 C 26. 227-230. Mar. 1933.)  
 Haines, H. W.: Should banks make Chattle Loans? (The  
 Bankers magazine. C 26. 3 235-240. Mar. 1933.)  
 Kataria, K. C.: Imperial bank of india (The bankers mag.  
 C 26. 3. 250-251. Mar. 1933.)  
 Klein, J.: A Good word for the banks (The Bankers mag.  
 C 26. 3 243-246. Mar. 1933.)  
 Lawrence, J. S.: Should we balance the Budget (The Bankers  
 magazine. C 26. 3. 217-222 Mar. 1933.)  
 Lee C.: Personal trust administration (The Bankers magazine.  
 C 26.-3. 227-230 Mar. 1933.)  
 McAlpin, R.: Valuation of policies assuring the amount Outstand-  
 ing under a loan. (Jl of the inst. of actuaries. L 13- 307.  
 437-443)  
 Mills, H.: The Perils of inflation (The Bankers mag. C 26-3-  
 246-250 Mar. 1933.)  
 E. P.: Le Rapport de la Banque de France (Jl. d. Eco. 92e  
 137-141 Feb. 1933.)  
 Payen, E.: Devant le deficit (Jl. d. Eco. 92e 97-101 Feb.  
 1933.)  
 Paterson, M.: The customers' loan market and the open-market  
 supply of loanable funds. (Jl. of Pol. Econ. 41, 1. 80-94  
 Feb. 1933.)

Reed, H. L.: Reserve Bank policy and economic planning.  
 (Amer. Econ. Review. 23, 1. Supplement. 108-118. March  
 1933.)  
 Taylor, H. H.: On paid-up policies and Surrender values under  
 the industrial Assurance Acts. (Jl. of the inst. f. Actuaries.  
 L 13-307. 271-297)  
 Wolfenden, H. H.: The real meaning of social insurance. If  
 Present status and tendencies (Jl. of the inst. of actuaries.  
 L13-307. 519-520)  
 Woodrow, G.: Eastern Counties rural districts male mortality  
 1920-22. (Jl. of the inst. of Actuaries. L13-307 283-404)  
 Rogers, J. H.: Federal Reserve policy in world monetary  
 chaos (Amer. Econ. Review. 23, 1. Supplement 119-129.  
 March 1933.)  
 Siegfried, A.: Letters from South America—II. (Fortnighly  
 Review. 795. 285-299. March 1933.)  
 Wardlaw-Milne, J.: Gold or Sterling? (The nineteenth Cen-  
 tury and after. 113-673. 257-268 March, 1933.)  
 Weidenhammer, R.: Causes and repercussions of the faulty in-  
 vestment of corporate savings. (Amer. Econ. Review. 23, 1.  
 35-41. March 1933.)  
 Dickinson, F. G., and others: The record of insurance during  
 the depression. A round table discussion. (Amer. Econ. Re-  
 view. 23, 1. Supplement. 12-22. March 1933.)  
 Fisher, E. M.: Speculation in suburban lands. (Amer. Econ.  
 Review. 23, 1. Supplement 152-162. March 1933.)  
 Frankel, S. H.: The Situation in South Africa 1929-32.—The

Currency Problem in South Africa (The Economic Journal. 43. 160. 93-107. March. 1933.)  
 Leslie, R.: South Africa and the Gold Standard—The Currency Problem in South Africa. (The Economic Journal 43. 160. 88-92. March 1933.)  
 Simpson, H. D.: Real estate speculation and the depression. (Amer. Econ. Review. 23. 1. Supplement. 163-171. March 1933.)

〔世界經濟〕

\* 世界列強戰備比較論 神田孝一著 四六判三六三頁……………東治書院  
 \* 經濟封鎖と日本の前途 東統一著 四六判七五頁 千倉書房  
 支那改造に國際協力の急務 (東洋、三六年四號、昭和八・四、五九—六五頁)  
 世界大戰後に於ける國際銀行設立案の發展に就いて (經濟史研究、四二號、昭和八・四、一九—三九頁) 松岡 孝兒  
 蔣介石のフアンション準備行動 (支那、二四卷三號、昭和八・三、五〇—五四頁)  
 世界恐慌と金融界の將來 (東洋、三六年四號、一〇—一一—一二頁) 田中鐵三郎  
 英露國交の危機 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、六八—七四頁) 嘉治 隆一  
 歐洲の危機を打診す (經濟往來、八卷五號、昭和八・五、三六一—三八頁) 稻原 勝治  
 ルーズベルトの指導原理の積極的批判 (經濟往來、八卷五號、

昭和八・五、六三—七二頁) 小島 精一  
 支那危局と日本政局 (經濟往來、八卷五號、昭和八・五、一六六—一七四頁) 佐々 弘雄  
 戰時原料統制論 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、二—四頁) 有澤 廣巳  
 獨逸金融資本の解剖 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、七五—一〇三頁) 世界經濟批判會  
 リットン經濟附屬書を駁撃す (經濟往來、八卷五號、昭和八・四、九四—一〇四頁) 高木友三郎  
 世界經濟會議への提案 (經濟往來、昭和八・五、七二—八二頁)……………増井 光藏  
 世界經濟會議の動向 (經濟往來、八卷五號、昭和八・四、五二—六三頁) 猪谷 善一  
 支那の經濟的危機 (經濟往來、八卷五號、昭和八・五、一五五—一六六頁) 田中 九一  
 戰爭戦 (改造、一五卷五號、昭和八・五、四四—六六頁)……………福本 和夫  
 米國の對日態度 (改造、一五卷五號、昭和八・五、一一—二二頁)……………新渡邊稻造  
 海外金融思潮—ラフソイの爲替學說— (銀行論叢、二三卷三號、昭和八・三、三二—三六頁) 銀行研究會調查部  
 世界經濟恐慌論 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、三七—四七頁) 高橋 正雄  
 世界の癘・戰債問題 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、五七—六四頁) 石濱 知行  
 スチムソン主義と世界の大勢 (中央公論、四八卷五號、昭和八・五、二四—三六頁) 横田喜三郎

ノ支國交回復とソ聯の對支經濟進出 (ソヴェート聯邦事情、四卷四號、昭和八・四、九三—一〇〇頁) 山 田  
 英帝國ノロッキン經濟の考察 (中) (財政經濟時報、二〇卷四號、昭和八・四、一一—一二—一七頁) 佐々木代々樹  
 國際經濟に關する若干の考察 (拓殖大學論集、三卷二號、昭和八・三、四七—五七頁) 山内 正昭  
 一轉機を告ぐ世界經濟 (財政經濟時報、二〇卷四號、昭和八・四、八—九二頁) 兼瀧 鎮雄  
 Kartoch, F.: Das Völkerbundsekretariat. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 68. 6. 702-729. März 1933.)  
 Chamberlain, J. P.: Legislation in a changing economic world (The Annals of the Amer. Acad. 166 30-45. March, 1933.)  
 Coatsman, J.: Die britische Reichswirtschaftskonferenz von Ottawa. (Weltwirt. Archiv. 37. 1. 42-79. Jan. 1933.)  
 E. P.: Le Commerce extérieur de la France en 1932. (Jl. d. Eco. 92e 132-137 Feb. 1933.)  
 Copland, D. B.: Zolltarif und Arbeitsmarkt in Australien (Weltwirt. Arch. 37. 1. 196-210 Jan. 1933.)  
 Donaldson, K.: The world monetary problem. (Weltwirt. Arch. 37. 1. 221-255. Jan. 1933.)  
 Franges, O.: Die Wirtschaftlichen Beziehungen Jugoslawiens und die Problematik seiner Eingliederung (Weltwirt. Archiv. 37. 1. 113-146 Jan. 1933.)  
 Graaff, A.: Die Neugestaltung der internationalen Zuckerwirtschaft (Weltwirt. Arch. 37. 1. 255-281 Jan. 1933.)  
 Heller, W.: Die Zukunft der Eingliederung Ungarns in die

Weltwirtschaft. (Weltwirt. Arch. 37. 1. 79-113 Jan. 1933.)  
 Hamel, Ja.: Danzig and the Polish Problem (Internation Con- citation. No. 288. Mar 1933.)  
 Kale, V. G.: Britisch-Indien und die Weltwirtschaft. (Weltwirt. Arch. 37. 1. 210-221 Jan. 1933.)  
 Kenworthy, JM.: American policy at the economic Conference (The nineteenth Century and after. 113-673. 269 281. March, 1933.)  
 Kowacki, C.: Des Sociétés anonymes en Pologne (Jl. d. Eco. 92e 141-148 Feb. 1933.)  
 Levy, H.: Die europäische Verflechtung des amerikanischen Aussenhandels. (Weltwirt. Arch. 37-1. 164-193 Jan. 1933.)  
 Lhomme, J.: La conférence économique d'Ottawa et des ré-sultats (Revue générale de Droit International Public 42e 2. 181-205 Mar. 1933.)  
 Luke, H.: New states and old in Dalmatia—II. (Fornightly Review. 795. 349-358. March 1933.)  
 Manollesco, M.: Die Zersplitterung und Wiedervereinigung (Weltwirt. Arch. 37. 1. 28-42 Jan. 1933.)  
 Morley, F.: International economic organization (The Annals of the Amer. Acad. 166. 26-29. March, 1933.)  
 P., G.: Die letzten deutschen Zollverhandlungen und der Aussen-handel mit den UdSSR. (Sowjetwirtschaft und Aussenhandel. 12-3. 17-20. März, 1933.)  
 Röpke, W.: Die säkular Bedeutung der Weltkrisis. (Weltwirt. Arch. 37. 1. 1-28 Jan. 1933.)



Read, T. T.: The world's output of work. (Amer. Econ. Review. 23, 1. 55-60. March 1933)  
 Tippett, C. S.: Die Bedeutung wirtschaftlicher Antriebe für die industrielle Struktur der Vereinigten Staaten. (Wirtschaft. Arch. 37, 1. 146-164 Jan. 1933)  
 Whiston, J. B.: La Doctrine de monna. (Revue générale de Droit International Public 40e 2. 140-180 Mar 1933)  
 Wright, P. G.: The bearing of recent tariff legislation on international relations. (Amer. Econ. Review. 23, 1. 16-26. March 1933)

【財政學】

地方財政改革論 三好重夫著 菊判二二〇頁 良書普及會  
 本邦財政改革の根本問題(一) 財政經濟時報 二〇卷四號 昭和八・四・六九―七六頁 高木 壽一  
 沙見三郎教授「國民所得の分配」(國民經濟雜誌 五四卷四號 昭和八・四・一五―二一五七頁) 柴田銀次郎  
 地方財政調整問題(經濟時報 五卷一號 昭和八・四・五三―六七頁) 高砂恒三郎  
 昭和八年度豫算を検討す(經濟往來 八卷五號 昭和八・五・一―二三頁) 小川郷太郎  
 ベック氏の累進稅論(商業と經濟 一三年二冊 昭和八・三・二二―二五〇頁) 松野 賢吾  
 外國法人の超過所得算出の基礎に就て(會計 三卷四號 昭和八・四・九八―一〇二頁) 中崎 重嗣  
 Diwisch, P. W.: Tariff reform: The case for bargaining.

(Amer. Econ. Review. 23, 1. Supplement 137-146. March 1933)  
 English, K.: Zur teleologischen Theorie der Wirtschaft. Auseinandersetzung mit Hans Riechl. (Finanz archiv 1-4. S. 599-589 März, 1933.)  
 Fossati, E.: Der Beitrag des Jean François Melon zur Finanzlehre (Finanzarchiv. 1-3. 589-603. März, 1933.)  
 Kiernan, T. J.: The National Income of the Irish Free State in 1926. (The Economic Journal 43. 160. 74-87. March. 1933.)  
 Magerger, D. H.: Taxation of Co-operative Dividend (The Economic Journal. 43. 160. 40-55. March 1933.)  
 Schwarz, O.: Die Finanzen der wichtigsten auserewopischen Staaten (Finanzarchiv 1-3, 60-724. März, 1933.)  
 Seigman, E. R. A.: The fiscal outlook and the coordination of public revenues (Political science quarterly. 158-1. 1-22. March, 1933.)  
 Semphim, P. H.: Der Ertismus in Polen (Finanzarchiv, 1-3. 642-662. März, 1933.)  
 Gross, H.: Probleme des öffentlichen Kredits in Deutschland (Finanzarchiv, 1-3. 663-689. März, 1933.)

【經營經濟學】

\*資本主義産業と技術の問題 藤林敬三著 世界經濟問題講座、第二部世界經濟の現勢、菊判五〇頁 春秋社  
 \*管理工學能率生活の實踐と作業合理化 井上好一著 菊判、

鑛山の開發と經營 山田復之助著 菊判 内田老鶴  
 收買性原理の本體―經營經濟學の認識目的に關聯して 高學評論、二卷四號 昭和八・三・八七―一二五頁 池内 信行  
 技術について―技術問題の要點、その一(思想 二二二號 昭和八・一・一一―二三頁) 戸坂 潤  
 ソグエートに於ける技術の宣傳に就いて(世界經濟問題 第五輯 昭和八・二・七―一五頁) 藤林 敬三  
 産業の機能化と危機(銀行通信錄 九五卷五六號 昭和八・三・三―四一―八八頁) アンドレ・リュエツス  
 農業經營規模の大小と家族構成並に經營の變化(農業經濟研究 九卷二號 昭和八・四・五三―七四頁) 石橋 幸雄  
 農産物生産費中に於ける自家労働の評価 經濟論叢 三六卷四號 昭和八・四・一三九―一四三頁 八木芳之助  
 利益金の動搖と株主配當(明大商學論叢 一三卷六號 昭和八・三・四〇―四八頁) 橋本 良平  
 配當株と所得税―配當株再吟味の判決(會計 三二卷四號 昭和八・四・八九―九七頁) 紀田 兼直  
 産業自治の一經驗(上) コロンビア・コンソーシアムの特殊な經營法(社會政策時報 一五一號 昭和八・四・一三二―一四五頁) 大塚 好  
 産業安全の組織的活動(産業福利 八卷四號 昭和八・四・一―一四頁) 蒲生 俊文  
 精神作用と安全(産業福利 八卷四號 昭和八・四・一五―二六頁) 佐藤龜太郎  
 職別調査調査(産業福利 八卷四號 昭和八・四・二七―三三頁) 上野 民治

鉛工業従業員の健康診査成績に就て(上)(産業福利 八卷四號 昭和八・四・六七―七九頁) 助川 浩  
 大氣の冷却力測定装置としての勞研「ラフレコメーター」、第一報、ラフレコメーターの構造及その理學的性狀に關する實驗的研究(勞働科學研究、一〇卷 號 昭和八・三・一一―二六頁) 江田周三・勝木新次  
 無負荷歩行時の瓦斯代謝(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・二七―四七頁) 奥山美佐雄  
 膝、股、肩、脚關節の減衰振動について 勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・四九―五三頁 江田周三・奥山美佐雄  
 高温中に於ける作業の身體に及ぼす影響に就いて(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・五五―六八頁) 鈴木和夫・梅崎煥實  
 本邦纖維工業に於ける各種作業場の濕湿度 勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・六九―七九頁 助川浩・勝木新次  
 石炭鑛坑内作業場の濕度濕度並に冷却力に就て 勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・八一―八八頁 松下 正信  
 紡織女工手の夏季作業室に於ける體温と脈搏とに就て(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・八九―九一頁) 川上 六馬  
 作業環境の濕濕と精神機能(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・九九―一〇四頁) 相原 藻見  
 機作業者並に鍛壓作業者の皮膚濕に就いて 勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・一〇五―一〇八頁 平松眞兵衛  
 重工業に於て高温が身體に及ぼす影響の臨床的觀察(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・一一一―一二七頁) 黒田 靜  
 高温高濕の個所に作業する鐵道工の身體に及ぼす影響に就て(勞働科學研究、一〇卷二號 昭和八・三・一二一―一二三頁)

物的方面より見たる工場災害(勞働科學研究、一〇卷二號、昭和八・三、一二五—一三五頁) 武田 晴爾  
 職業的皮膚疾患の原因的觀察(勞働科學研究、一〇卷二號、昭和八・三、一二七—一五一頁).....オノ・シム・ハ・イム原著、小川壽著  
 國民經濟的連鎖店組織否認論(經濟時報、五卷一號、昭和八・四、六八—八二頁) 竹林庄太郎  
 廣告醇化運動と現代廣告の效果(明大商學論叢、二三卷六號、昭和八・三、二一一—三九頁) 松本 瀧藏  
 Auguy, M.: L'homme et la machine. (Revue d'éco. Poli. 49e No 1. Jan-Feb. 30-55 1933.)  
 Frölich, F.: Fertigung und Vertrieb (Ein Beitrag zur Frage der wirtschaftswissenschaftlichen Ausbildung des Ingenieurs und der Zusammenarbeit von Kaufmann und Ingenieur) (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 160-171. März 1933.)  
 Gubitz, W.: Das Kreditversicherungsgeschäft in Deutschland. (Z. f. handelswiss. Forschung, 27, 3. 142-156. März 1933.)  
 Hüppsw, H.: Verkaufspolitik in der Stahlindustrie. (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 183-184. März 1933.)  
 Ludwig, W.: Zur Kursentwicklung von Obligationen. (Z. f. handelswiss. Forschung, 27, 3. 126-142. März 1933.)  
 von Mares.: Vorratwirtschaft im Ferngaa. (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 172-175. März 1933.)  
 Price, H. B., and others: Size of business unit as a factor in efficiency of marketing. A round table discussion. (Amer. Econ. Review, 23, 1. Supplement, 98-107. March 1933.)

Schwarz, S.: Rentabilität von Neuerungen im Betrieb. (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 175-181. März 1933.)  
 Weizenberg, H.: Der Betriebsvergleich im Dienst der Betriebskontrolle. (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 151-183. März 1933.)  
 Verneburg: Einleitung von Fabrikwissenschaftlern in Wasserlaufe (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 184-188. März 1933.)

〔會計學〕

モンクツツシの有機的貸借対照表觀(會計、三二卷四號、昭和八・四、五四—七三頁) 杉本 秋男  
 法定準備金制度の批判的考察(會計、三二卷四號、昭和八・四、四一—五三頁) 黒澤 清  
 公益事業の資本金に關する諸問題(會計、三二卷四號、昭和八・四、二一一—四〇頁) 藤原 泰  
 カルテル會計(會計、三二卷四號、昭和八・四、一一二—一二二頁) 小高 親  
 統制勘定に就て(會計、三二卷四號、昭和八・四、一三三—一四二頁) 井上 龍雄  
 經營比率の標準化(會計、三二卷四號、昭和八・四、一〇三—一二二頁) 西野嘉一郎  
 企業の信用經濟的觀察方法(會計、三二卷四號、昭和八・四、七四—八八頁) 沼田 嘉穂  
 我國主要電氣供給會社の經營比率研究(會計、三二卷四號、昭和八・四、一四三—一五〇頁) 電氣協會東北支部  
 計理士動員計畫案會計、三二卷四號、昭和八・四、一一二—一〇頁)

.....金子利八郎  
 株式會社監査役々計理士(會計、三二卷四號、昭和八・四、一一九—一二二頁) 大村 勇  
 計理士法改正問題に就て(會計、三二卷四號、昭和八・四、一二三—一二八頁) 木村 禎橋  
 「資産評價準則」を讀む(商學評論、一一卷四號、昭和八・三、二一一—三五頁) 青木倫太郎  
 信託財産の分配—信託會計の一節—(二)明大商學論叢、一三卷六號、昭和八・三、一一二—〇頁) 細矢 祐吉  
 Amely, L.: Zur Frage der Anwendung kaufmännischer oder kameralischer Buchhaltungen in den öffentlichen Betrieben und Verwaltungen unter besonderer Berücksichtigung der neuerzeitlichen Buchungstechniken. (Z. f. handelswiss. Forschung, 27, 2. p. 81-96. Feb. 1933.)

Eichelberger, A.: Der Revisionsplan (Betriebswirtschaft, 26, 3. 77-86. März 1933.)  
 Obst, O.: Konzernbilanz und Wirtschaftsprüfer. (Betriebswirtschaft, 26, 3. 59-76. März 1933.)  
 Rosendorf, R.: Die Pflichtprüfung(Audit) des Jahresabschlusses im englischen Aktienrecht. (Z. f. Betriebswirtschaft, 10, 3. 141-160. März 1933.)  
 Schmalz, K.: Stille Reserven und Aktienbilanz. (Betriebswirtschaft, 16, 3. 86-92. März 1933.)  
 Werners, B.: Die Anwendung des Kontenrahmens in Zeitungsbetrieben. (Z. f. handelswiss. Forschung, 27, 2. 57-8. Feb. 1933.)

〔社會學〕

\*唯物辯證法讀本 大森義太郎著 四六判三〇一・三一頁.....中央公論社  
 日本の社會學者に寄す(社會學、第五號、一一四頁).....マルセル・モス  
 .....アメリカ社會學史の意義及び方法(續)(社會、二卷四號、昭和八・四、三七—五〇頁) 早瀬 利雄  
 米國都市社會學の特殊性(都市問題、一六卷四號、昭和八・四、三七—四九頁) 奥井復太郎  
 上部構造・下部構造論(の一)考察(商業と經濟、一三年二册、昭和八・三、四七—七三頁) 河野 吉男  
 生産力と生産關係との矛盾について(唯物論研究、第六號、昭和八・四、二〇八—二〇九頁) 武田 武志  
 生産力と生産關係(唯物論研究、第六號、昭和八・四、二〇一—二一三頁) 相澤 秀一  
 生産力とその要素について(唯物論研究、第六號、昭和八・四、二一四—二二五頁) 相川 春喜  
 史的唯物論と社會學—大森氏は社會學を如何に遇するか—(唯物論研究、第六號、五七—八六頁) 清水幾太郎  
 生物學に於けるダーウソンの課題(下)(唯物論研究、第六號、昭和八・四、八七—一〇頁) 梯 明秀  
 マルクスの階級ならびに職業概念に關する一試論(唯物論研究、第六號、昭和八・四、一七二—一八五頁) 小高 良雄  
 ハーゲル史觀の實踐的構造(經濟論叢、三六卷四號、昭和八・四、三七—五六頁) 石川 興二

模寫論の論理學としての唯物辨證法(唯物論研究、第六號、昭和八・四、一七—三四頁) 君島 慎一  
 わが辨證法的唯物論の回顧と展望(唯物論研究、第六號、昭和八・四、三五—五六頁) 加藤 正  
 アジア的生産方法の問題に就て(支那經濟研究の一節—商業と經濟、一三年二冊、昭和八・三、七四—一二五頁)…… 新川 傳介  
 「アジア的生産様式」の理論の反動性(社會、二卷四號、昭和八・四、一一—一九頁) 相川 春喜  
 社會構成と歴史の秩序(思想、一三一號、昭和八・四、四四—六〇頁) 馬場啓之助  
 人口移動の距離的制約—ラヴェンシュタイン「移住法則」の新吟味(社會學、第五號、六九—八八頁) 米村 富男  
 多環的社會に於ける社會的凝集(社會學、第五號、五—二六頁)…… マルセル・モス  
 未開社會に於ける集團諸形態の交錯 臺灣ツォウ族に於ける一例(社會學、第五號、二七—四六頁) 岡田 謙  
 社會心理學に於ける實驗の對象について—狩野廣之氏「社會は實驗出来るか」に答ふ(社會學、第五號、二九—三二頁) 近藤 貞次  
 社會學研究ノート(一)—(1)實在說的及名目說的社會概念(2)實在說及名目說的社會學的考察(社會學、第五號、一三—三一—四四頁) 藏内 數太  
 日佛社會學者の提携について(社會學、第五號、一四五—一五二頁) 田邊 壽利  
 協同社會への行進(經濟往來、八卷五號、昭和八・五、一四—三六頁) 本位田祥男

\* Ginsberg, M.: Studies in social gy. London, 1932.  
 \* Ellwood, C. A.: Social problems: a sociology. New York, 1932. 432 p.  
 \* Kimball, P.: Sociology and education. New York, 1932.  
 \* Leuchgens, H.: Theorie der Gesellschaft. Friedb. 1932. 432 S.  
 \* Mannheim, K.: Die Gegenwartsaufgaben der Soziologie. Ihre Lehrgestalt. Tübingen. 64 S.  
 \* Du Passige, H.: Notions de sociologie. Paris, 1932. 243 p.  
 \* Lewalter, E.: Zur Systematik der Marschen Staats- und Gesellschaftslehre. (Archiv f. Sozialwiss. u. Sozialpolitik. 68, 6. 641-675. März 1933)  
 \* Sommer, L.: Sozialwissenschaftliche Darsteinn. (Schmollers Jahrbuch. 57, 1. 107-112. Feb. 1933)

【社會問題】

\* 社會問題辭典(社會思想全集、四〇卷) 島中雄三編 四六判  
 …… 平 凡 社  
 \* 近代社會思想の解説 國鹽耕一著 菊半截 松 華 堂  
 \* 九州社會運動年鑑(一九三二年版) 四六倍 ……  
 …… 九州社會運動通信社  
 \* カウツキー農業問題(下) カウツキー著 農業問題研究會譯 四六判 鐵塔 書院  
 \* 農業綱領の諸問題(上卷)(レーニン農業問題大系三) 大山岩 雄編譯 四六判 鐵塔 書院  
 \* 日本農業問題、生糸問題 小池基之著(世界經濟問題講座第

五部日本經濟と世界經濟) 菊判九五頁 春秋 社  
 \* 一 インターナショナル史 ステークローフ著 内垣謙三譯 (改造文庫第一部二〇一卷) 菊半截三八七頁 改造 社  
 \* 共產黨運動の研究 楠瀬正澄著 四六判 新 光 閣  
 \* 日本フアッシュの現勢 津田光造著 四六判 軍事教育社  
 \* 日本人口問題 寺尾琢内著(世界經濟問題講座第二部日本經濟と世界經濟) 菊判四八頁 春 秋 社  
 \* 極東亞片問題 菊判 國際聯盟協會  
 \* 人は何故に貧乏するか 高島素之著 四六判 政治批判社  
 漁りに於ける社會問題(社會事業、一六卷一二號、昭和八・三、六八—七四頁) 蜷川 虎三  
 小作爭議の趨勢と小作立法問題—法學新報、四三卷四號、昭和八・四、二九—五〇頁) 八木澤善次  
 現下の労働組合運動(改造、一五卷五號、昭和八・五、一一〇—一二二頁) 菊川 忠雄  
 フランスに於けるホテル労働者の状態—特に移入労働者問題の分野に於て—(社會政策時報、五一號、昭和八・四、九三—一〇六頁) 淺野 研眞  
 サヴェート聯邦の労働市場状況(世界の労働、一〇卷四號、昭和八・四、一四—一八頁) 國際労働局東京支局  
 労働者補償法の基礎理論(二・完) 法律新報、四三卷四號、昭和八・四、五一—七四頁) 水島密之亮  
 ヒストラー論(中央公論、四八卷五號、昭和八・五、二七—四二—八五頁) 馬場 恒吾  
 「ファシズム」(Fascismus)の國家理論 法律論叢、一二卷四號、昭和八・四、二二—三八頁) 森吉 義旭  
 フアッシュ—イタリアの政治的構成(上) 經濟國家の創設(都

市問題、一六卷四號、昭和八・四、二二—三六頁) 今中 次麿  
 フアッシュ地理學—地理政治學批判(拓殖大學論集、三卷二號、昭和八・三、五八—八八頁) 川西 正鑑  
 フアッシュモの精神分析とその批判(一)(國家學會雜誌、四七卷四號、昭和八・四、六〇—八四頁) 戸澤 鐵彦  
 歐洲に於けるファシズムに就て(完)(丁酉倫理會倫理講演集、三六六輯、昭和八・四、一六一—三二頁) 五來 欣造  
 商業使用人組合論(下)(社會政策時報、一五一號、昭和八・四、一七—三四頁) 井上 貞藏  
 我國中間階級の展望(社會政策時報、一五一號、昭和八・四、三五—四五頁) 松本 悟朗  
 支那の迷信的結婚に就いて(拓殖大學論集、三卷二號、昭和八・三、一一—二二頁) 宮原 民平  
 …… 田中耕太郎  
 \* Bünny, G.: Der freiwillige Arbeitsdienst der Frauen. Grundlagen, Sinn, Praxis und künftige Bedeutung. Anhang: Der freiwillige Arbeitsdienst für Mädchen. Eine Druckschrift bearb. vom Deutschen Archiv für Jugendwohlfahrt und der Deutschen Akademie für soziale und pädagogische Frauenarbeit. Leipzig. 1933. 35 S.  
 \* Byer, H.: Die Frau in der politischen Entscheidung. Eine Untersuchung über Frauenwahlrecht in Deutschland. (Soziologische Gegenwartsfragen. H. 2.) Stuttgart. 1933. 56 S.  
 \* Deutsch, J.: Geschichte der österreichischen Gewerkschaftsbewegung. Bd. 2. Im Weltkrieg und in der Nachkriegszeit. Unter der Mitarbeit von Käthe Leichter u. a. Wien 1932.

316 S.  
 \*Dobbert, G.: Red economics; introd. by Walter Duranty. Boston, 1932. 351 p.  
 \*Forsting-Kohlstedt: Die soziale Frage im Französischen Schriften. Bielefeld u. Leipzig. 1932. 124 S.  
 \*Graham, F. D.: The abolition of unemployment. Princeton. 1932. 107 p.  
 \*Hobson, J. A.: From capitalism to socialism. London, 1932.  
 \*Jakobson, M.: Die russischen Gewerkschaften, ihr Entwicklung ihre Zielsetzung und ihr Stellung zum Staat. Berlin. 1932. XII-188. S.  
 \*Jüllich, H.: Der freiwillige Arbeitsdienst in der Grossstadt. Grundsätzliches zur Frage: Arbeiten oder Dienen? Stuttgart 1932. 32 S.  
 \*Moellendorff, W. v.: Konservativer Sozialismus. Hrg. u. eingel. von Hermann Orth. Hamburg. 1932. 267 S.  
 Bellman, H.: Building Societies—Some Economic Aspect (The Economic Journal. 43. 160. 1-39. March 1933.)  
 Pouniatian, M.: Technical Progress and Unemployment (International Labour Review. 28. 3. 327-348. March 1933.)  
 The Five-year Plan and the Regulation of the Labour Market in the U. S. S. R. (International Labour Review. 28. 3. 349-377. March. 1933.)  
 Brown, H.: Hitler or the Junkers. (Fortnightly Review. 795. 273-284. March 1933.)  
 Chamberlain, J. P.: Forced labor (The Annals of the Amer. Acad. 166. 80-85. March, 1933.)

Cheyney, A. S.: A comparison of convention provisions with Labor legislation in the United States (The Annals of the Amer. Acad. 166. 176-189. March, 1933.)  
 Dauriac, F.: Le Travail des femmes en France devant la Statistique. (Revue decon. Pol. 47e No 1. 91-110)  
 Decker, G.: Marx als Forscher und Politiker (Die Gesellschaft. 10. 3. 201-216. März, 1933.)  
 Fair, W.: Die Marxschen Prognosen und der Revisionismus. (Die Gesellschaft. 10. 3. 240-251. März, 1933.)  
 Hallet, J.: Karl Marx: F. Fly y. ans after. (Fortnightly Review. 795. 311-321. March 1933.)  
 Hanna, H. S.: The international cost-of-living inquiry (The Annals of the Amer. Acad. 166. p. 162-167. March, 1933.)  
 Hems, A.: The conference at work (The Annals of the Amer. Acad. 166. 86-94. March, 1933.)  
 Johnston, G. A.: The international labor office and industrial relations (The Annals of the Amer. Acad. 166. p. 75-79. March, 1933.)  
 Kautsky, B.: Die Marx-Engels-Gesamtausgabe. (Die Gesellschaft. 10. 3. 265-271. März, 1933.)  
 Kautsky, K.: Marx und Marxismus (Die Gesellschaft. 10. 3. 180-200. März 1933.)  
 Meeker, R.: An international civil service. (The Annals of the Amer. Acad. 166. 102-106. March, 1933.)  
 Miller, S.: American labor's relation to the international labor organization (The Annals of the Amer. Acad. 166. p. 156-161. March, 1933.)

Morellet, J.: Legal competence of the international labor organization (The Annals of the Amer. Acad. 166. p. 46-52. March, 1933.)  
 Myers, J.: American relations with the international labor office, 1919-1932. (The Annals of the Amer. Acad. 166. 135-145. March, 1933.)  
 Nikolajewsky, B.: Karl Marx und die Berliner Sektion der I. Internationale (Die Gesellschaft. 10. 3. 252-264. März, 1933.)  
 Phelan, E. J.: How the international labor organization operates (The Annals of the Amer. Acad. 166. 4-9. March, 1933.)  
 Radbruch, G.: Autoritäten oder soziale Strafrecht? (Die Gesellschaft. 10. 3. 217-230. März, 1933.)  
 Rosner, J.: An Enquiry into the Life of Unemployed Workers in Poland (International Labour Review. 28. 3. 378-391. March, 1933.)  
 Shiras, G. T.: The Population Problem in India. (The Economic Journal. 43. 160. 56-73. March 1933.)  
 Spates, T. G.: The employers of the United States and the international labor organization (The Annals of the Amer. Acad. 166. 146-155. March, 1933.)  
 Stewart, B. M.: The international labor organization and unemployment (The Annals of the Amer. Acad. 166. 53-65. 166. p. 53-65. March, 1933.)  
 Willis, J. H.: Possibilities of United States collaboration with the international labor organization (The Annals of the Amer.

Acard. 166. 168-175. March, 1933.)  
 Volheim, G.: Aufstieg u. Niedergang des Kapitalismus im Reich. (reich nach Max Weber und Michael Rostoutzeff. (Jahrbücher f. Nationalökonomie u. Statistik. 138. 3. 390-412. März, 1933.)

【社會政策】

\* 社會改良主義 奥井復太郎著 (世界經濟問題講座第四部世界經濟政策) 第1、6、4頁 春秋社  
 \* 近代社會事業之方面救護の實際 財部叶著 菊判 盛進社  
 商店法案と輿論 (社會政策時報、一五二號、昭和八・四、四六—五七頁) 北岡 壽逸  
 勞働協約の本質に關する二個の見解の對立 法律論叢、一二卷四號、昭和八・四、一一—二二頁) 後藤 清  
 英國に於ける勞働者災害補償法に就いて (商學評論、一一卷四號、昭和八・三、三六—六八頁) 清水金二郎  
 住宅政策の諸相とその基本觀念 (社會政策時報、一五一號、昭和八・四、五八—七四頁) 吉川末次郎  
 東京府三多摩地方に於ける製糸織物工場勞働事情—賃金前貸制度矯正の其の後— (産業福利、八卷四號、昭和八・四、九五—九八頁) 警視廳工場課  
 工場監督覺帖 (産業福利、八卷四號、昭和八・四、一一—二二頁) 矢野 兼三  
 世界各國の失業保險及扶助制度 世界の勞働、一〇卷四號、昭和八・四、四九—六〇頁) 國際勞働局東京支局  
 希臘社會保險法の内容 (世界の勞働、一〇卷四號、昭和八・四、

一九二二六頁) 國際勞働局東京支局  
 健康保險の諸問題(完)(社會事業、一六卷一二號、昭和八・四、  
 八四—九二頁) 石井 通則  
 不良住宅地區改良事業(一) 社會事業、一六卷一二號、昭和八・  
 三、二—一九頁) 清水 虎雄  
 スラム發生源因と其の防止策(社會事業、一六卷一二號、昭和  
 八・三、二〇—二七頁) 大林 宗嗣  
 スラム居住者の心理と其の教化(社會事業、一六卷一二號、昭  
 和八・三、二八—四一頁) 友松 三郎  
 アメリカの貧民窟(社會事業、一六卷一二號、昭和八・三、四二  
 —四八頁) 村島 歸之  
 スラム改善の居住者に及ぼす影響(社會事業、一六卷一二號、  
 昭和八・三、四九—五四頁) 三上 孝基  
 スラムの光明としてのセトルメント(社會事業、一六卷一二  
 號、昭和八・三、五五—六一頁) 渡部 一高  
 スラムに於けるセトルメントの使命—特にその近隣組織につ  
 いて(社會事業、一六卷一二號、昭和八・三、六二—六七頁)……  
 …… 谷川 貞夫  
 …… 鈴木 舞一  
 年少者就職の基本問題(社會事業、一六卷一二號、昭和八・三、  
 七五—八三頁) 松岡眞太郎  
 職療法に依る保護少年の性能改善(完)(社會事業、一六卷一  
 二號、昭和八・三、九三—一〇五頁) 石原 太藏  
 川口鑄物業の實際(下)(社會政策時報、一五一號、昭和八・四、  
 一〇七—一三一頁) 東京市調査會  
 東京市制案と本會(都市問題、一六卷四號、昭和八・四、一—九  
 頁) 東京市政調査會  
 四月十七日—自治記念日(都市問題、一六卷四號、昭和八・四、

一一—二二頁) 池田 宏  
 第六十四議會に於ける東京都制案(都市問題、一六卷四號、昭  
 和八・四、八三—九三頁) 弓家 七郎  
 大東京最初の市會改選成るまで—選舉肅正運動(都市問題、一  
 六卷四號、昭和八・四、一〇—一一〇頁) 東京市政調査會  
 大東京市會議員總選舉の概観(都市問題、一六卷四號、昭和八・  
 四、一一—二八頁) 魚卦川 浩  
 本邦市吏員の採用並昇進に於ける銓衡方法(都市問題、一六卷  
 四號、昭和八・四、一二九—一六二頁) 龜卦川 浩  
 Barnett, G. E.: American trade unionism and social insurance.  
 (Amer. Econ. Review. 23, 1. 1-15. March 1933.)  
 Bergman, A.: Innungsrichtlinien für den Lehrlingslohn. (Ar-  
 beitsrecht. 20, 3. 137-150. März 1933.)  
 Bissenien, P. F.: The campaign against the labor injunction  
 (Amer. Econ. Review. 23, 1. 42-54. March 1933.)  
 Burns, E. M.: The economics of unemployment relief. (Amer.  
 Econ. Review. 23, 1. Supplement. 31-43. March 1933.)  
 Litige, F.: Ist Sozialpolitik im Liberalismus möglich? Eine  
 Auseinandersetzung mit Adolf Weber, Othmar Spann und  
 Eduard Heimann. (Schmollers Jahrbuch. 57, 1. 69-96. Feb.  
 1933.)  
 Mahaim, E.: The principles of international labor legislation  
 (The Annals of the Amer. Acad. 166. 10-17. March, 1933.)  
 Marx: Die Rechtsstellung des Filialleiters. (Arbeitsrecht. 20,  
 3. 149-162. März 1933.)  
 Meriam, R. S.: Some theoretical aspects of unemployment re-  
 serves. (Amer. Econ. Review. 23, 1. Supplement. 23-30.

March 1933.)  
 Pothof, H.: Gesetzliche Regelung der Heimarbeitszeit (Ar-  
 beitsrecht. 20, 3. 161-166. März 1933.)  
 Sell: Die Kostenersatzung im arbeitsgerichtlichen Verfahren.  
 (Arbeitsrecht. 20, 3. 173-176. März 1933.)  
 Shotwell, J. T.: The international labor organization as an  
 alternative to violent revolution (The Annals of the Amer.  
 Acad. 166. 18-25. March, 1933.)  
 Wade, G.: Das dienstrecht der Behördenangestellten als Ver-  
 bindungsglied zwischen Arbeitsrecht und Bantrecht. (Ar-  
 beitsrecht. 20, 3. 129-138. März 1933.)  
 Warncke, H.: Abzüge des Arbeitgebers und Vollstreckungsziel  
 des Arbeitsgerichts. (Arbeitsrecht. 20, 3. 167-174. März 1933.)  
 Wilson, F. G.: The enforcement of international labor stan-  
 dards (The Annals of the Amer. Acad. 166 95-101. March,  
 1933.)

【統計・年鑑】

\*新潟縣年鑑(昭和八年版) 四六列 新潟 其社  
 \*北海道水産年鑑(昭和八年) 四六列 北海道水産協會  
 \*最近世界現勢地圖帖 菊判大 小川琢治著 新光 社  
 \*經濟統計學要論 菊判 田井要助著 有斐 閣  
 Statistics in India. The mangural address of the President. The  
 Rt. Hon. Lord mston of agr and Dunotar. (H. of the  
 Royal Statist. Socie. Part 1. vol. XCVI. 1-21. 1933.)  
 Pearson, E. S.: Statistical method in the Control and Standardi-

tion of the Quality of manufactured Products. (Jl. of the  
 Royal Statist. Vol. XCVI. Part 1. 21-76. 1933.)